

第22回宇宙安全保障部会 議事要旨

1. 日時

平成29年6月9日（金） 15:00～16:00

2. 場所

内閣府宇宙開発戦略推進事務局大会議室

3. 出席者

(1) 委員

中須賀部会長、片岡部会長代理、青木委員、折木委員、鈴木委員、名和委員、山川委員

(2) 事務局

宇宙開発戦略推進事務局 高田事務局長、佐伯審議官、松井参事官、行松参事官、高見参事官、佐藤参事官、守山参事官

(3) 関係省庁等

内閣官房国家安全保障局 吉田審議官

総務省情報通信国際戦略局宇宙通信政策課 新田課長

国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）未来 ICT 研究所 佐々木主管研究員

4. 議事要旨

(1) 宇宙基本計画工程表改訂の中間取りまとめについて

資料に基づき、事務局より説明を行った。委員から以下の意見があった。

- 機能保証について、関係各省を集める勉強会等の設定が必要である。
- 宇宙の機能保証は常にサイバーを念頭に置いて考えることが重要である。
- ジャミングのようなソフトキルや、地上局に対する脅威についても考慮に入れていく必要がある。
- 宇宙における行動規範をベンチャーや新興国に対して教育していくことが大事である。

(2) 量子暗号等について

資料に基づき、国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)より説明があった。委員から以下の意見があった。(以下、○意見等、●事務局等の回答)

- 資料に記載されている「脅威Ⅲ：改鼠」はどのようなものか。
- 衛星にマルウェアを混入して偽の感染情報を発信させ、地上で受信する衛星測位情報を少しずつずらして移動体を誘導させるという実験について説明があった。
- 10年レベルの政府による息の長い支援（推進戦略の策定、研究者・エンジニアの育成）がこのような研究には必要である。

- 量子通信への妨害としてのレーザー照射への対策として、ホッピング技術、スペクトラム拡散がある。

以上